



ACCU文化遺産セミナー 2024

古代ガラスロードが読み解く 飛鳥の東西交易

—最新の科学分析の現場から—

2025年1月18日(土)

13時00分-15時00分(開場:12時30分)

場所 | 奈良公園バスターミナルレクチャーホール
(奈良県奈良市登大路町76)

講演者 | 田村 朋美 氏
(独立行政法人国立文化財機構奈良文化財研究所 都城発掘調査部 主任研究員)

申込 | 事前申込制(先着順)

定員 | 300名

*先着順のため、定員を超えた時点で応募期間中であっても募集を締め切ります。

参加費 | 無料

申込方法 | 応募期間:2024年11月1日(金)-12月1日(日)

Eメール、FAXまたは、なら歴史芸術文化村応募ボックスよりご応募下さい。

*同じ方から複数回のお申込みがあった場合も、1回のお申込みとして扱います。

*ご本人様および同伴者の両方よりお申込みいただいた場合、いずれか一方のお申込みのみ受付いたします。

*受講票の送付は行いません。

主催 | 公益財団法人ユネスコ・アジア文化センター文化遺産保護協力事務所(ACCU奈良)

後援 | 奈良県、奈良市、世界遺産「飛鳥・藤原」登録推進協議会

講演者

田村 朋美氏

(独立行政法人国立文化財機構奈良文化財研究所
都城発掘調査部 主任研究員)



京都大学大学院人間・環境学研究科にて保存科学を学び、博士号(人間・環境学)を取得。平成22年より奈良文化財研究所に勤務。現在は都城発掘調査部主任研究員として、文化財科学・保存科学の専門家として業務に取り組む。特に、ガラス玉の材質分析を専門とし、日本で出土するガラス玉の分類研究を進める。日本列島におけるガラス玉の材質の時期変遷を明らかにするとともに、生産地や当時の交易ルートの解明を目指して研究に取り組んでいる。

プログラム

- 13時00分-13時05分 開会挨拶
(ACCU奈良事務所長 森本 晋)
- 13時05分-13時20分 世界遺産登録に向けての取組
(奈良県地域創造部世界遺産室)
- 13時20分-15時00分 講演
(独立行政法人国立文化財機構奈良文化財研究所
田村 朋美 氏)

セミナー概要

日本の遺跡からガラス製の小さなビーズが見つかることがあります。古くは弥生時代の遺跡から発見されており、古墳からも多くの出土例が見られます。この時期、ガラス素材はもちろん、ビーズ自体もほとんどのものが海外で生産されたと考えられています。日本に輸入されたガラス製品の流通は東アジアの範囲を越えて、インド洋沿岸に至る広大な地域に及んでいました。日本では、飛鳥時代になってようやくガラス素材を生産した遺跡が見つかっており、奈良時代は国産のガラスビーズが盛んに作られました。とても小さなガラスビーズではありますが研究によって、とても広い地域のつながりを解き明かしていきたいと思います。

アクセス

電車：近鉄「近鉄奈良」駅下車、徒歩約10分
バス：奈良交通市内循環バス「県庁前」から徒歩約2分
※奈良公園バスターミナルレクチャーホールには駐車場がありません。
お車でお越しの場合は、周辺の有料駐車場をご利用ください。



申込方法

Eメール、FAXまたは、なら歴史芸術文化村応募ボックスよりご応募下さい。
*同じ方から複数回のお申込みがあった場合も、1回のお申込みとして取り扱います。 *ご本人様および同伴者の両方よりお申込みいただいた場合、いずれか一方のお申込みのみ受付いたします。 *受講票の送付は行いません。

応募期間

2024年11月1日(金)~12月1日(日)

〈Eメールでの申し込み方法〉

①氏名(ふりがな)／②年齢／③電話番号／④同伴者氏名(1名のみ可)を明記のうえ、nara@accu.or.jpまでお送りください。

〈FAXでの申し込み方法〉

下記応募欄に必要事項をご記入のうえ、FAXにてお送りください。

ご本人欄		同伴者欄(1名まで可)	
氏名(ふりがな)		氏名(ふりがな)	
年齢		年齢	
電話番号		電話番号 (ご本人様と異なる場合)	

※ご記入いただきました個人情報は、当事業以外には使用いたしません。

〈なら歴史芸術文化村での申し込み方法〉

なら歴史芸術文化村 文化財修復・展示棟1階受付に設置している応募ボックスに、チラシ裏面のFAX欄に必要事項をご記入のうえ、ご応募下さい。

お問い合わせ先

公益財団法人ユネスコ・アジア文化センター文化遺産保護協力事務所

〒632-0032 奈良県天理市杣之内町437-3 なら歴史芸術文化村 文化財修復・展示棟2階
TEL:0743-69-5010 FAX:0743-69-5021 e-mail:nara@accu.or.jp